

外来看護師の役割について考える ～外来看護の専門的業務と事務的業務を調査して～

秋庭智津子¹⁾ 清水須美子^{1)*}

1) 国立病院機構鳥取医療センター看護部外来

Consideration for the role of outpatient nurses

- Investigating specialized and clerical works in the outpatient department nursing -

Chizuko Akiba¹⁾, Sumiko Shimizu^{1)*}

1) Department of Nursing, the outpatient department, National Hospital Organization Tottori Medical Center

*Correspondence: sumiko@tottor-iryu.hosp.go.jp

要旨

外来看護師は、「事務的業務を行っている現状がなんとかならないか」と日々行っている業務に対し不全感を感じていた。看護師が不全感を感じる要因として、鳥取医療センター（当院）の外来看護師の役割とは何か、自分の行っていることの意味付けが出来ていないためではないかと考え、当院の外来看護師の役割を明確にすることを目的に、外来看護師が業務で費やしている内容と件数について調査、分析を行った。その結果、看護師が行っている業務内容を明確にすると同時に、外来看護師の役割について考えることができた。鳥取臨床科学 1(1), 212-216, 2008

Abstract

Outpatient nurses had been unsure about doing so much clerical works daily and they had felt not completed their own specialized work after finishing their daily works. One of the reasons for feeling incomplete about their daily works was that they did not know what the role of outpatient nurses was and why they were involved in such works. In order to clarify the role of outpatient nurses, we investigated and analyzed the work contents and incidence of each work that they performed. As a result, the work duties of outpatient nurses were clearly confirmed and the role was considered carefully for their future performance. *Tottori J. Clin. Res.* 1(1), 212-216, 2008

Key Words: 外来看護業務, 外来看護師の役割; work duties of outpatient nurses, role of outpatient nurses

はじめに

近年、在宅医療、地域連携など状況の変化に伴い、外来に求められる役割は多様化してきている。鳥取医療センター（当院）は560床を有する病院で、標榜科として、精神科、神経内科、小児科（小児神経が専門）などがあり、回復期および慢性期の患者がほとんどである。当院の外来患者の多くは、精神障害や身体機能障害など、何らかの障害を背負いながら社会生活を送っている。また、継続看護の必要な患者も多い。

しかし、外来看護師の多くは「患者とゆっくり関わることが出来ていない。看護師でありながら事務的業務をしなければならない現状はどうにかならないか」と、不全感を感じていた。看護師が不全感を感じる要因として、外来看護師の役割とは何か、自分の行っていることの意味付けが出来ていないためではないかと考えた。

井部¹⁾は「外来看護を必要としている人は全体の15%と割り切り、その人たちをどの様に見つけていくかを考えること。（中略）患者と接する15